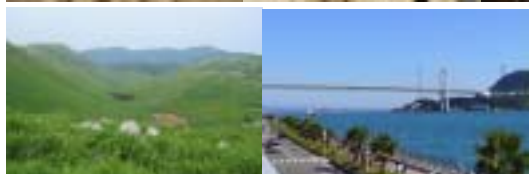


2005 四季折々 Mutsu おもいつくまに

〈 2005 四季折々 Mutsu おもいつくまに 〉

1. 西アフリカ マルアの子ども達の乾期にうたう「雨ごいのうた」
2. 最近のNHK ドラマの風潮に「冬のソナタ」のブームを重ねて
3. 2005 春 風来坊 Walk 思いつくまに
4. 日本を追い越してゆくアジアを韓国映画に見る
5. JR 尼崎の脱線・転覆事故に思う
6. 空梅雨の間に山口へ 山口を基地に初夏の緑を風来坊
7. 最近の新地名にとまどい「雲南市」って知っていますか ??
8. 青春 18 きつぷで 夏のあちこち 風来坊
9. 縄文がえりのすすめ
10. 「和鉄の道 たたら遺跡探訪」も 60 編を越えました
11. 地球温暖化がもたらすもの 瀬戸内海・大阪湾を作った地球温暖化
12. 面白い市場 下関唐戸市場【1】 日曜日下関「唐戸市場」は「うまいもの市・お祭り広場
13. 面白い市場 下関唐戸市場【2】 「はげ」と「かわはぎ」は同じ魚
皮の剥ぎ取りの早業にびっくり
14. Merry Christmas !!



1.

西アフリカ マルアの子ども達の乾期にうたう「雨ごいのうた」

2005.1.15.

昨年11月20日 地球おはなし村「アフリカ ペツテ村 井戸掘り」チャリティ公演で、おはなし隊の木下さんによってうたわれた詩がホームページに掲載されました。

何とやさしい心の詩だろうと感激で本当に熱くなりました。

その感激を皆さんにもお伝えします

西アフリカ マルアの子ども達の乾期にうたう「雨ごいのうた」

神様 雨を降らせて下さい
野のチョロル鳥にも 雨をお与え下さい
野のチョルチョロル鳥にも 雨をお与え下さい
野の獣みんなが お水を飲めますように
神様を信じる人達みんなが お水を頂いて飲めますように
おばあさんも お水を頂いて飲めますように
目の悪い方も お水を頂いて飲めますように
親のない子ども達が お水を頂いて飲めますように
子ども達が病気になるしないで
からだの悪い子どもがよろこんで
おばあさん達がよろこんで
おばあさん 病気になるしないで
お水をもらって よろこんだら
わたしら 本当にうれしいなあー

2004年11月20日 十三聖贖主教会にて チャリティー公演の一日 より

ペツテ村に井戸を！ のキャンペーンにご賛同いただいたみなさま方、本当にありがとうございました。

うれしいお知らせです。2005年5月、ペツテ村のジュセツペ神父から、待望の井戸ができて、水が出た、とのお知らせと写真が送られてきました。村のみなさんの喜びの顔をごらんください。



ジョセッペ神父からのお礼文

親愛なるポールさん。 お元気ですか。 私は元気です。
暑くて、体にはあせもができています。でも、まもなく雨期です。
神様がいらっしゃります。我慢するのみです。
ムーダの人たちが一生懸命になって、深井戸をほりあげ、ポンプもつけました。
水がでてきています。 おかげさまで。
何枚かの写真をおくります。
井戸掘りのために寄付をいただいたお友だちに みせてあげてください。
どうもありがとう。
深井戸の ほかの写真も みてください。それではまた。

ジョセッペ

ムーダは、マルアから33キロ南にいったところにある村です。
そこに、ボランティアの イタリア人の技師たちが滞在していて、
そこからペッテ村までやってきて、
井戸をほったのです。
なお、雨期は あと1ヶ月もありません。
雨期になると ペッテ村は自動車ではいけなくなり、孤立してしまいます。
ぎりぎりいっぱいがんばって、井戸掘りをしたこととなります。)

2.

最近のNHK ドラマの風潮に「冬のソナタ」のブームを重ねて 感性をわすれたのか・・・・・・・・

「冬のソナタ」がNHKで放送されて韓流ブームを巻き起こし、社会現象になって、すごい騒ぎになっているという。一方 最近のNHKのドラマ番組 プロジェクトXも含め、何か恣意的な影が見え隠れして まったく面白くない。
NHKドラマ 番組がはじまる前に筋が何度もフラッシュ放映され、本に雑誌に猛烈なPRが繰り返しまわっている。そして 其中で 筋がわかってしまっている。
一番 胸わくわくするところが、すでに前宣伝で明らかにされるドラマ
もう一番いいところを捨ててしまったようなもの。
それで、内容がわかったうえで、「見て感激せよ」を繰り返す。

自分なりのイメージを膨らますことも感性もあったものでない。

面白くなくなるのもそんなところ。

最近のプロジェクトXも似たようなもので、涙するところ 感激するところ みんな台本にまるで書かれているかのよう。筋もそれらが出てくる時間までほぼいっしょでは・・・・・・・・

「豊かさ・暖かさ・やさしさ」の言葉が氾濫するが、実際には不安定で、安心した仲間の中にはいないと生き

ていけないような風潮の社会。

そんな社会の中で みんな同じでなければならぬのか・・・

はたまた、無意識にそれを求めているのか・・・

NHK はそんな風潮の先乗り・代弁者そんな感じがしてならない。

「感性」「判断力」「自立性」がなくなってきたのは何も「子供」の学力の問題だけでなし。

日本人全体がそんな社会作りに甘んじているからではないか。。。。。

「冬ソナ」もある御仁が多くの人に聞いたところ、「最初からこれを見た人はどの世代をとっても少なく、ブームといわれだしてから、とりこになった人が圧倒的」という。

乗せられることによって起こるブーム。そうかもしれないなあ・・・と。

「それも 悪くはない」とは言いますが。。。

一方で世界一般以上に 国際競争・グローバル化の掛け声の下に 厳しい競争社会が冷酷に進んでいる現実を見ると そんな社会の風潮に自分も加担しているのか。。。。 と

なにか 誰を気にすることなく感激するような感性がまた奥底にしまわれ、一番先に立つのは損をするといった村社会の道が静かに進行しているのか。。。。

みんなと一緒に信じていたら 自分だけが取り残される。いつ 自分がエスケープゴートにされかねない時代。

「冬ソナ」がどうのこうのではありませんが、 NHK の最近の動きに「いやな風潮」そんなことを感じています。 良いか悪いか わかりませんが、何か 時代が大きく変わろうとしている中で あてがわれるのではなく、先をしっかりと見る目だけは養っておきたい。

あるテレビ番組で 日本のバブル期の猛烈な絵画の価格上昇が 今客がまったく離れ、ビジネスにならぬ状況と今中国で起こっている絵画のバブルを伝えていた。

バブルを経験した日本と中国のビジネスマンの市場感の違いにうなっていました。

日本のバブルを経験した人が、中国のビジネスマンに自制を促す。

売れる絵しか描かなくなつた画家を憂い、また ビジネスの拡大によるユーザーの多さに眼を奪われ、売れるとする値段の吊り上げ 拡大路線の追走が、異常としてとらえ、道を修正しないといずれバブルをハジキ、ビジネスも何もかも破壊すると。。。

でも 中国のビジネスマンいわく

今 この時流に乗らずして。。。。 中国には中国の流れがあり、日本は参考にならぬ。

今の時流にわれわれはかけると。。。

これも みな 自分の行き方の問題。どうなってゆくのか。。。。。

阪神・淡路大震災 10 年を迎え、この 10 年の評価 そして 今の生き方が 多くの人によって論じられている。

なにか 自分でも と思いながら ついつい ぶつぶつです。

3.

2005 春 風来坊 walk おもいつくまま

2005 春 を告げる 花 菜の花と福寿草 Photo

1. 菜の花畑 神戸 運動公園



神戸運動公園 菜の花の丘 2005.3.18.

2. 春を告げる「福寿草」



里の春は梅・桜

山の春は福寿草・カタクリ

大阪から京都へ行く途中 天王山など左手に見える北攝の山のひとつ「ポンポン山」に春を告げる花「福寿草」の群落があると聞いてみました。

関西では 鈴鹿や吉野の山中にしか自生地がないと聞いていたのですが、本当にすぐ近く もっとも山の上の急な北斜面の谷間で、太陽に向けて 精一杯手を広げている元気一杯の黄色い花「福寿草」が咲いていました。

一輪のカタクリが風に立ち向かって体をゆすっている姿にも感動しますが、山の斜面に手を精一杯広げた黄色いなが顔出していると華やいで元気が出てきます



春を告げる福寿草 ポンポン山 西尾根の谷の北斜面の自生地 2005.3.31.

4.

日本を追い越してゆくアジアを韓国映画に見る

4月 友のくれたメールへの返信より

2005.4.12. by Mutsu Nakanishi

Nさん 韓国映画「大統領の理髪師」のメールありがとうございます。

興味を持って読みました。

「大統領の理髪師」も私はまだ、みてないのですが、機会あれば 見に行きます。

映画を見るのも ご無沙汰ですが、時折、映画の感想などのメールを戴いて、平日 時間的余裕が出来たので、時々 見に行こうか。。。と家内と話しています。

私の見る映画といったら、難しい映画みるのいやで また、日本映画ばかりで、「癒し系ばかりやなあ……」とからかわれています。

でも、シネコンが身近になって 時折 平日の午後 出かけてます。

レイチャールズの映画「レイ」を見たいと三宮で数回 覗きましたが、いつも立ち見しかなく、おかげで イギリスの山岳映画「命のザイル」を見ました。

最近 は 映画ブームとかで いきあたりばったりでは、平日映画館行っても見られないこともあるようです。

最近 日本映画では落ち着いた風景や情景描写のきれいな映画がないのが不満。韓国映画の方が きれいな映画多いですね。また、家内が笑うのですが、言葉の並びが日本語と同じなので字幕が遅れないのも好き。

韓国映画見ていると日本映画か韓国映画かわからんぐらい……昔の木下恵介の映画見ているようで好きです。街の風景・描かれている人並み・情景 本当に現代の日本と変わらぬようになりました。

最近のアジアの映画をみると「アジアの中心」を自認している「日本」「東京」がそのうち「アジアの田舎」になって 中国や韓国 果ては東南アジアに「先端の街」を見にでかける時代が来るのではないかと……と。

日本の孤立 日本抜きで進む国際社会。 島国根性の村社会丸出しの日本の状況を見ているとそんな感じがします。

最近見た韓国映画「オアシス」 アサヒキネマ昨年の外国映画部門最優秀映画とかでその迫力と内容すごかった。刑務所から出てきた若者と身障者二人だけの心の交流を描いた映画で、本当は暗いすごい内容の映画なのですが、昔日本映画に見たさすがさがした映画でした。

韓国の人に聞くとみんな知っていました。

そんなところで、メールいただいた話題作「大統領の理髪師」については 触れられませんでした。「韓国もほんとうに 誰もが自由奔放に振舞える時代になって来て、日本をどんどん追い越して行く」そんな感じを映画の中に感じています。

今度は 自分の眼で 見てきたいと思っています。

日本の10年が中国・東南アジア・韓国の1年で起こっている。

日本も 理念を持った国づくりがないと……

長くなりましたが、最近 さんなことを感じています。

2005.4.12. 神戸にて 中西

追伸

4月下旬 レイチャールズの映画「レイ」をみました。

笑われそうですが、レイチャールズの「わが心のジョージア」がジョージア州の州歌になつているなんて 知りませんでした。一昨年 息子を訪ねてアトランタやナッシュビルなどオールド南部の街を歩いたことと重ねながら、最近ではトンと耳に入ってこない古きアメリカのミュージック 楽しみました。

「最近の世相と「団塊の世代」が作った社会の責任」

黙って 風来坊やっているわけには行かず。ついつい 一言感じているままと綴りました。

2005.5.25. Mutsu Nakanishi

北海道へ行っている間に尼崎 福知山線の脱線・転覆の重大事故。網走駅で知りました。

本当に痛ましい事故で亡くなられた方々にはなんとも言えぬ気持です。

技術屋にとっては 「スピード違反」で片付けられない また 痛恨の事故。

「ご都合主義のグローバル化 効率化」のつけを何時まで払わねばならぬのか・・・と。

私の小さい時から 良く自動車を見に行ったり また遠足や遊びによく乗った福知山線。そして東海道線を挟んで南側に添って私の職場があったので、余計にびっくり。

事故がおこると常に現場の当事者の「当事者責任」がマスコミと経営者によって語られる。

現場実態経験のない経営者の「無責任な安全対応策」にも頭がくる。

マネージメント・管理者層の安全予知能力のなさ・感度の悪さが アセスメントを言葉だけにして「効率第一主義」に走らせ当事者責任をなくしている のではないか

運転手の技術教育と共に現場を知らぬマネージメント・管理者層の安全予知能力の感度訓練・・・

自動車教習所の「安全予知感度」試験 何点とれるだろうか・・・

国土交通省のATS 万能論もいただけない。機械は安全レベルは上げるが、使う人の知 力がなければ大事故は防 げない。

「人・物・金」とよく言うが会社にいる間に頭に叩き込んだ『「人」・「設備」・「システム・運用」・「環境」』の解析手法 今でもこれがなければ 実態は出てこない。一つだけ取り上げてダメだろう。

だって 旧のATSがあって 急停止できるシステムあるのになぜ 速度 オーバーで急カーブ進入したのか 何にも 速度をカーブにあわせて落す新ATS システムが必要でなし。

カーブでの速度制限標識とブレーキ認識位置 本当にカーブに間に合うの か・・・

130 キロでも大丈夫カーブ曲がれると言っていたのが いつのまにか 110キロ そして70キロを越える猛スピードに

本当に自分の意思でカーブに猛突進していったのだろうか・・・

勝手な疑問は言うまい。でも 機械の怖さ あらゆる側面ですそれを操る人の心の問題まで 感じ取らないと安全にはならぬ。

特に今回は現場当事者責任が宣伝されているだけに 管理者の当事者責任をもつとかん がえなおさねば・・・最近特に「ISO の認証システム」でも一番欠けているものとして「経営者の責任」が具体的に認証責任としてとらえられている。

体質の改善はヤッパリ ここからだろうと思う。一日も早い改善と安全運転がはじまることのぞむ。

また 「効率」の前にいつも犠牲になってきた「安全」と「現場の当事者直接責任」

なおざりな「言葉だけの安全第一」からの一日も早いめざめを期待する。

まだ 現役の仲間には 是非 ここだけは「がんばれ!!」とエールを送りたい

やっぱり 当分は、自分で自衛せねばならぬと・・・

「最近の世相と「団塊の世代」が作った社会の責任」 黙って 風来坊 やっているわけには行かず。ついつい 一言感じているままと綴りました。

2005.5.25. Mutsu Nakanishi



新緑の秋吉カルスト台地 2006.6.18.

6月空梅雨の間に草抜きを口実に山口へ 1週間 新緑の山里を楽しんで帰りました。

久しぶりの秋吉カルスト台地は緑におおわれ、緑が眼にしみた素晴らしい景色。

また、山口の仲間に会って、飲んで、温泉に入って・・・・

ええ加減に山口の家たためと言われるのですが、神戸とは別にもうひとつの場があること本当に楽しみです。

2005.6.15.-20. by Mutsu Nakanishi

山口を拠点に初夏の緑を風来坊

九州の名峰 英彦山に登ってきました。そこで見た「鬼杉」。世に巨樹はおおいのですが、胴回りの大きさと共に見上げる高さにただ唖然。さすが 修験の山 山の急峻さに加え、巨樹が林立する原生林にもビックリでした。 まだまた、面白い山あります。

また、広島県の北 太田川が流れ下る中国山地の町「加計」 江戸期 たたら製鉄で栄えた鉄の街。

切手にもなつたたたら絵巻「加計隅屋鉄山絵巻」を訪ねてきました。

現物はみれなかつたのですが、15メートルを超える長さの絵巻のパネルが民俗資料館に在りました。

まるで北斎漫画を見るごとく 江戸期の「加計 和鉄の道」で働く人達が活き活きと描かれていました。

今は静かなひっそりした街道筋。でも 街の中に現役の鍛冶屋があり、トツテンカンの音が街に響き、「石見神楽」の道具を作っていました。

思いもかけないことがほかにも在りました。これも「和鉄の道」歩く楽しみです。



芸北のたたら街 広島県 加計



九州英彦山 鬼杉



山口へ行く途中 立ち寄った中国山地 芸北のウッドワン美術館で 今年6月東京のオークションで3億円で落札されたルノワール「婦人像」の2点の搬入・荷解き・仮展示に出会い 見てきました。

それも 立ち会ってみているのは10人たらず。もう 我が物。

すごい絵が荷解きされて 目の前にある。こんな経験二度となし。

広島から1時間ちょっと 山の中のウッドワン美術館

ちょっと遠くて便利悪いですが、世界の名品を落ち着いてじっくり楽しむお勧めの美術館です。



広島県吉和 ウッドワン美術館

今月はそんな山口へ行ったときの風来坊のWalkをまとめました。

半年で庭は自然帰り 野草が一面

また、山口の草抜きもしっかりやってきました。こっちも驚き。

山口の家の庭を見てビックリ。ほんの半年なのですが、今までになかった山の草付きの斜面などに生えている雑草がびっしり。もう山口の家を離れて5年。毎年数回帰って しっかり草抜きしていたのですが、こんな具合に山の雑草がびっしりなのははじめて。

飲み仲間いわく 「そら 自然帰り」やと。

ひと気がなくなって、庭の土壌もどンドン自然帰りして、自然の雑草が一気に自分たちの出番と思ったのだと。

目の見えないところで、進行する自然の変化 眼に見えるようになってはもう遅い 付け焼刃ではどうもダメらしいのはなんでも一緒である。



びっしり茂った雑草



草抜き前



草抜き 後 2005.6.18.

「庭が自然に帰る」など思いもよりませんでした。自然の治癒力というか生命力を考えさせられました。

付け焼刃的にかく草抜き。2日かかりですませたのですが・・・

草抜きにうんざりしながら、眼にしみる秋吉カルスト台地の新緑を思い出す。

「この庭 雑草が緑の時はきれいやったやろなあ。

その時をみたかった」と。さあ どんな手をうとうか・・・

2005.7.5. Mutsu Nakanishi

「雲南市」って 知っていますか ???? 最初 見たときには 中国雲南省の町かと

島根県の東部奥出雲に位置する「大東町 加茂町 木次町 三刀屋町 吉田町 掛合町」の6町が昨年11月に合併して発足した市。同県で唯一海に面していない市で、市名は旧出雲国南部に位置することによるという。

奥出雲のたたら製鉄・石見神楽などなじみの町である。

最近 知らないところへ出かけると戸惑うことが多い。新しい市と旧町の名前が入り乱れてややこしい。

町村合併で市が新たに誕生した場合はまだしも、合併してもそのまま町の場合は旧町名と新町名が入り混じって益々ややこしい。

そこに住む人達が、まだ、新しく誕生した町になじんでいないためか 旧町の役場や組織をそのまま支所として残して旧役場の名を使わないと生活が動かない。それぞれが固有の歴史・文化を持ち、ましてや、山や谷・川が境となって、生活圏が異なる町がいっしょになつているのだから、なおさらである。

北海道 函館市と合併した南茅部の町の場合も同じ。

「北の縄文 茅部町」が突然「北の縄文 函館」になったのである。

元の函館の人にとっては「そんな事知らんよ」であろう。函館の市街から ほとんどひと気の無い山を越えねばならず、バスも数本 まあ 国で言えば 連邦国家みたいなものであろう。

先日訪れた加計は加計町・戸河内町・筒賀町が一緒になって「安芸太田町」隣の豊平町は千代田町といっしょになって「北広島町」 町の人達やその地の標識はみんな旧町名のまま。

一方 観光・カーナビ・道路地図では新名称で簡素化が進み、旧町名など載っていない。しかも 今まで使ったこともない新市名が落下傘のように下りてくる。

兵庫県の豊岡市の場合 豊岡市に出石町 日高町がひっついて新「豊岡市」

外から見ても 歴史的に異なる背景を持つ出石・日高が豊岡市といわれても・・・である。

どうやって このそれぞれ固有の文化・生活圏と全体を調和するのか・・・

きっちりした歴史の重みを加えないと全く何も残らなくなると思うのですが・・・

地名は文化・生活を知る上で本当に重要な手がかりであり、それを頼りに歴史を掘り起こすことが多い。

それが 忽然ときえてしまい、もう歴史には登場しないのである。

今 自動車社会の急速な進歩の中 道路地図 カーナビなどの地図が全盛。でも 地図が簡略化され、地図からどんどん地名が消えている。 町で買う道路地図 インターネットの電子地図 詳しいようで多くの地名が消えている。 それに拍車をかける大合併と新市名の登場である。

町史さえ きっちり整備されないままの合併となるともう断絶に近い。

国土地理院の地図だけが頼りになり、そこに住む人さえ その地のルーツがわからなくなる時代が近い。

地名だけではない。 合理化・相互交流と融合のもとに猛烈な素人集団が町の行政を担って、合理的・効率的サービスの名前ですすんでゆくのでないか・・・

日本の大企業が引き起こした素人集団のまったく現場把握を知らない管理の構図が町に到来しようとしている。

何を残し、何を切るのか・・・

箱物・物量から 質への転換 効率化・合理化ゆえに人の連携の質の強化など行政のプロの意識が逆に一番求められるときであろう。地方分権の柱としての大合併 思想がないと益々ドツボの世界のような気がしてならない。

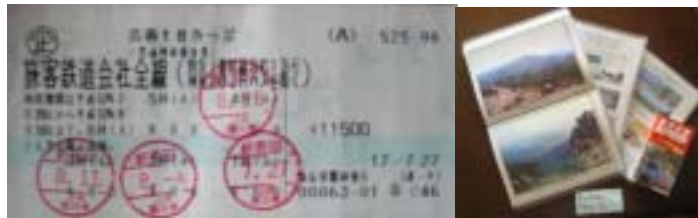


ガイドブックやカーナビにのせられて、そのとおりにしか歩けない。そんなことを最近特に感じています。そんな中に 歴史も文化もまいぼつしてしまうのか 鉄道の旅も同じですが、地図をみて、色々考える楽しみが随分減っているなあ とつくづく感じています。

2005.7.5. Mutsu Nakanishi

8.

青春18きっぷで 夏のあちこち 風来坊



2005.8.31. by Mutsu Nakanishi

家内にけしかけられて7月の末 2005 夏の JR 「青春 18 きっぷ」を買いました。春・夏・冬休みにそれぞれ売り出される切符である。

7月20日から9月10日までの期間 JR の普通列車に限り、5回一日乗り放題で11500円 一回あたり、2300円で何処でも行ける。

今年の夏は これを使って 平日の風来坊の旅 鉄道の旅を決め込もうと……………。

週末しか出かけられないサラリーマン時代 特急や新幹線は普通乗車券含めて全部買わねばならず、普通列車しか乗れない窮屈さに使ったことなかったのですが、

一度使って見たかった切符で、この1ヶ月 あっちへふらふら こっちへふらふら 和鉄の道を楽しみました。次々とゆきたいところのルートマップが浮かんでくる。

時刻表買って 色々調べるのですが、普通電車だけの旅 日帰りではもうほんとうに遠くへいけなくなりました。新幹線・特急使うと本当に遠くまで日帰りできるのに……………です。

勝手気ままな 一人旅 上記の幾つか 実現 一部 和鉄の道探訪として掲載。 また 少しづつ 整理します。

この夏 歩いた青春 18 きっぷの旅の写真を一部掲載します

(鳥取県 青谷海岸へは どうしても 普通電車では便悪く 車で家内と出かけ、中国山地を津山に抜けて帰ってきました。)

2005夏 青春18きっぷ 普通電車日帰り Walk 写真アルバム

和鉄の道 古代の鉄の足跡を訪ねて

北河内 古代 物部氏の鍛冶工房集落 森



北河内 古代 物部氏の鍛冶工房集落 森 と 天の川伝説 の 私市界限

大阪府 交野市 2005.7.27.

出雲で青銅器が埋められた後 忽然と因幡国の西端 青谷に現れた先端技術の港湾都市
 青谷上寺地弥生遺跡



青谷上寺地弥生遺跡 2005.7.28.

鉄の道具で加工された数々の木製品・骨角品・土器など鉄の時代到来を告げる「国」のさきがけ
 ここで 弥生人の脳みそが そのまま残った頭骨が3つみつかった



まがね吹く 吉備 吉備 walk



まがね吹く 吉備 吉備 walk 「真金吹く吉備の中山」 岡山県総社 2005. 8.4.

その「中山」は古代山陽道 瀬戸内海岸景勝地 桃太郎伝説の吉備津神社が山裾にある
 背後の中国山地は「真金吹く」古代吉備の大製鉄地帯



まがね吹く 吉備 吉備 walk 津山周辺の古代製鉄遺跡を訪ねて 2005.7.28.& 8.4.

大蔵池南製鉄遺跡は古代 初期たたら遺跡

また 吉井川の分流 誕生川に残る古代製鉄遺跡群には物部氏の足跡が残るという

湖北のたたら遺跡を訪ねて 滋賀県木之本町&余呉



天女の通う道は鉄の道(2) 湖北のたたら遺跡を訪ねて 滋賀県木之本町&余呉 2005.8.5.
 賤ヶ岳から見る余呉湖 & 日本で最も初期のたたら遺跡のひとつ 古橋たたら遺跡

湖北 海津大崎周辺の山には古代鉄鉱石があり、大和王権初期の製鉄はこの鉄鉱石が原料といわれる
 近江は鉄の国 湖南瀬田・南郷丘陵には源内峠や木瓜原・野路小野山製鉄遺跡 湖北にはマキノ・浅井などの
 製鉄遺跡群 多くの渡来人の郷が琵琶湖を取り囲む



湖北 古代鉄の郷 マキノ の北の壁 赤坂山・三国山の連山



湖北 古代鉄の郷 マキノ の北の壁 赤坂山・三国山の連山
 この山を越えると福井県若狭 嶺南地方である 2005.8.29.





観光地をめざさなくとも 乗っているだけで楽しい鉄道の旅

僕みたいな青春18キップ一枚握りしめた中年や学生グループ 夫婦連れ 随分多いのにもビックリしました。自分だけでなく 数多くの御仁がいること発見しました。

使ったことなかったの、このキップの使い方知りませんでした。みんな工夫して思い入れの一つや二つあるキップだと仲間から聞きました。

日帰りのできるだけ遠くへとか・一日一筆書きの旅・2日かかりのできるだけ遠くへとか

1枚のキップで何人でもOKなので、グループやご夫婦で使ったりとか

暑くて 暑くて閉口しましたが、思いも寄らぬことに出会えて、面白い青春18きっぷwalkでした。

また 「朝鮮半島の渡来人から北九州・山陰そして 中国山地を越えて吉備・播磨そして河内・大和へ」 神話・伝承ばかりの世界とっていましたが、和鉄の道が現実味を持って繋がったのも収穫。

面白い鉄の日本史が見えてきて ひとりではよろこんでいます。もっとも 首かしげる妄想かも。。。。

遠くーや快速電車のない内陸側を目指すのなら「できるだけ早起き 夜中に帰る」。これでないは無理というのが私の実感。

もう 路線はズタズタで東海道線側の快速・新快速電車が走っている区間だけが便利良くて、外れるとよっぽど 調べてゆかないと。。。。

また、地方の足はもう鉄道ではないこと 風来坊では目的地まで厳しいことなど 実感しました。

中核都市の駅前が繁盛するのと裏腹にかなり大きな地方都市までも衰退している現実

地方で地方活性化叫んでも届かぬ現実ありありとデス。

でも やっぱり 特急券 急行券だけで乗れる切符とか、JR 東日本の新幹線含めた安価な週末フリー切符みたいなキップほしいですね。そしたら 行動半径が一気に関西から九州 北陸・信州に広がるのですが。。。

新幹線 もうけすぎではないのか。。。。と逆に思ってしまいます。

さあ スローライフとスピードの先端社会と どんな調和を目指すのか 旅一つとっても 揺れ動いています 少しづつ整理して、「和鉄の道」ホームページに掲載できればと思っています。

9月10日まであと一回残っています。

さあ どうしようかと。。。

2005.8.31. by Mutsu Nakanishi

巷では「相手を抹殺する刺客」だの「相手の存在を許さぬ二者択一」「弱肉強食」と世は「劇場型選挙」と面白がっている。

「多数派と金」が力の源泉と 自分も属していると思っている多数派から急に少数派へ
そんな立場の変化へ容赦のないパッシングの激しさ

劇場型とか 劇画的 マンガチックといつてばかりは居られない

明日はわが身 「誰も振り向いてもくれない、金もない」 不安感が万円する世相

「いやなら 出てゆけばよい」というが、「いったい どこへ 行けというのだろうか」

その先には「たらいまわしの無責任な現実」が日常化しているというの……………。

言葉では「ハードから ソフトへ 量から質へ 同質化から多様化へ 情報管理からオープン化へ
効率化からスローライフへ」と心地よいスローガン

でも この言葉を口にする人の蔭に 「エリートにとっての」の言葉が隠されていると見るのは余りにもひ
ねくれすぎか……………

イラク戦争 パレスチナ紛争が益々出口がなく、救いのないテロの嵐 戦いの中で憎しみが憎しみを生む
この連鎖をどのように断ち切れればいいのか……………

世界を風靡したアメリカ流というか ブッシュ流の論理が破綻を来たし始めている。

世界では「和」の精神への評価が高まっているという。

「モットイナイ」精神や「戦いを解決の手段に選ばぬ平和憲法。 あいまいではっきりしない日本等々。

パッシングされつづけ、日本人が片隅に閉じ込めようとしているこの言葉。

この現象をどう見ればよいのだろうか……………

日本は極東の言葉に象徴されるごとく、大陸の端のしかも絶海の孤島。

むかしから、その時代時代に何度となく 多くの人たち 動物・植物までもが、数多く大陸より渡ってきた。

ここより先にもう行くところなし。この最後の楽園にむかって……………。

ここで共生するしか生きる道無し。もう ほかには行くべき所無し。

そんな思いが、戦いはあつたにせよ、殺戮の歴史を阻んできた。

「和をもって貴し」 動植物に限らず、共生の道を選択せしめたという。

そういわれてみると

「和をもって貴し」 聖徳太子の憲法17ヶ条

「戦いを知らなかった縄文人」「縄文・弥生人の相互同化 大和王権も国譲り」という。

人間のみならず、針葉樹から、広葉樹まで日本の多種多様な植生。

「鬼 鬼」と嫌う一方 「鬼のしぐさ」に親しむ

機械・ロボットにまで、名前をつけ、愛情を注ぐ

これらが、日本噴火・精神の奥行きと価値を産む

中国・朝鮮半島 地理的には近いが、気風となると随分違うようだ。

そんな中での選択肢。

世界の眼の中で、最近の風潮を感じるにつけ、日本人がもっと意識してよいのではないのでしょうか……………

先日亡くなったローマのヨハネ3世の葬儀に集まった世界の多くの若者の感受性に、新鮮さを感じています。

対 照的に逆の極を目指す日本。いつ 転換点がおとずれるのでしょうか……………

2005.9.5. by Mutsu Nakanishi

山や里歩きの道ずれにと意識して歩き始めて 10 年になり、「和鉄の道 たたら遺跡探訪」も 60 編を越えました。

日本各地のたたらの中の写真集 フィールドに行ってみることだけ Walk 集なのですが、これだけ集まると探訪記とはまた違った見方でたたらの話が集まっているのではないかと

そんな事考えながら このたたら遺跡探訪記を中心に「たたらよもやま話」のタイトル書き出してみました。勝手な作り事で あってるかどうか分かりませんが、たたらの話の参考になれば・・・時間が取れば、少しづつ書き溜めようと思っています。

2

005.9.5. by Mutsu Nakanishi

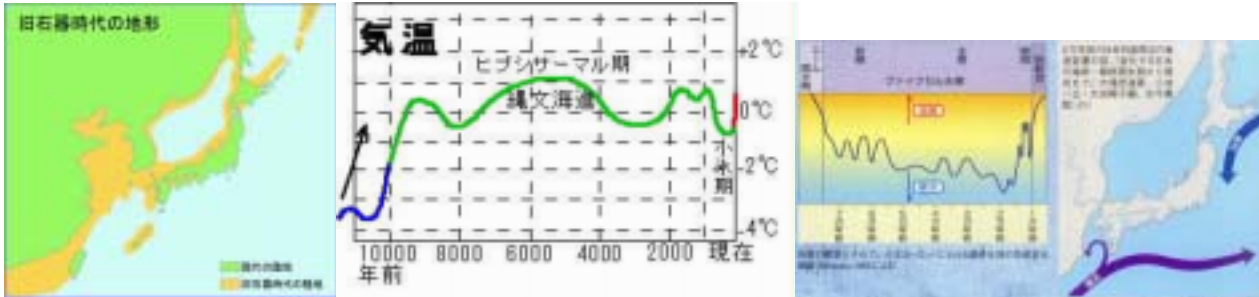
【参考】 Mutsu 鉄の話 あれこれ 「Iron Road 和鉄の道」より
(タイトルのみ 内容は「Iron Road 和鉄の道」の中から あたってみてください)

1. 鉄・たたら語源 鉄に関する言葉の周辺で
2. 「かわりばんこ」
この言葉はたたら製鉄からでた言葉です
3. 「鉄鋼は剛柔にして その態を変える」 「韻鉄・鉄・鋼・銑鉄」
鉄と炭素の結びつきが作る鉄の神秘が鉄を「五金の王」にする
4. 金属の中で「鉄」だけが酸化すると融点が下がる
それが 融点の高い鉄の直接製鉄・たたら製鉄を可能にした
5. 日本刀を鍛える 日本刀鍛錬の技術はハイテクの先端技術
ナノ結晶に迫る微細化と熱処理
6. 蝦夷の武器「蕨手刀」が日本刀のルーツ
突く「剣」から切る「刀」へ
7. 「現代の鉄」がすぐにサビるのに「たたら鉄」は 1500 年を経
過して 今もまだ残っている。
8. 鉄自立の謎
古代大陸・朝鮮半島との密接な交流が続くのに 1000 年かかった
鉄の国内製錬
9. 近世のたたら製鉄
鉄穴流しが出雲平野や広島・赤穂の市街地を作った
10. 不思議な形の鉄
芦原と沼地が作った「高師小僧」「鬼板」「鳴石」
岩手県北上山地の川にゴロゴロ丸い「餅鉄」
各地に残る「お鈴」「ササ」の神事は鉄の名残か
11. 岬の沖を通る船の羅針盤が狂う「磁石石」
そんな岬が何箇所か日本にある
12. 紀伊国屋文左衛門のみかん
江戸の鍛冶屋の祭「鞆祭」に台風を突いて江戸へ
13. 「鬼は悪者か」 鬼伝説と鉄との結びつき
津軽鬼沢では「鬼の里」を誇り「福は内 鬼も内」
鬼沢ねぶたが弘前の街をねる
「あの高嶺 鬼住む誇り・・・」と北上市の市民憲章は歌う
14. 蝦夷の総大将「アテルイ」と坂上田村麻呂
京都清水寺にアテルイの碑がある
岩手県民が作った市民アニメ「アテルイ」
15. 羽衣伝説と鉄 天女の通った道は鉄の道
16. 北播磨 千種は製鉄神降臨の伝承地
古代「鉄」の渡来神・出雲神 中国山地を舞台には数々の伝承
が語り継がれている
17. 三輪山は鉄の山
卑弥呼の邪馬台国は朝鮮半島からの鉄の移入を支配した????
18. 山陰の鉄
弥生後期 鉄の時代を告げる青谷上寺地遺跡の人骨に残る殺傷
痕は倭国の大乱の名残か
19. 九州北部 筑後・菊池川流域に残る装飾古墳
渡来の鉄の技術集団の足跡か
20. 日本各地に「鉄山」と名のつく山がある
また「鬼」の名のつく山はもっと多い

瀬戸内海・大阪湾を作った地球温暖化

また 縄文時代には 今より1~2 気温が高く 海水面が上昇した時代があった

2005.11.5. By Mutsu Nakanishi



今から約2万年前氷河期が終わり頃、今より気温が約5度ほど低かった時代 海水面は今より約125mも下であった。その後 地球が温暖化が始まり、現在まで温暖な気候が続いている。

温暖化が進むにつれ 海水面が上昇を続け、大陸と地続きであった日本が切り離されて日本海ができ、また、瀬戸内・大阪湾にも海水が流入して約1.5万年かけて現在の日本の骨格ができてきた。

岡山県 牛窓海岸のすぐ向かいに「黄島」という無人島がある。

縄文時代の初めから、環境変化と戦いながら 縄文中期まで人が住みつき、貝塚を作った遺跡がある。

ちょうどその過程で 太古の昔 陸続きであった大阪湾・瀬戸内海が出来てゆき、それを示す遺跡である。自分たちが住む街がどんな風であったのか それが 面白くて 瀬戸内海・大阪湾が出来てゆく様子をしらべました。

今 環境破壊による地球温暖化が大きな問題となっているが、

一方では「われわれの生活への直接的影響は小さい」とたかをくくっている向きもある。

海水面が上昇してイタリア ベニスには水没しかねないし、ガルフ湾やフィリピン沖の海水温度が高く、巨大台風がアメリカ南部や日本を襲う。度重なる集中豪雨の雨量は今までの予想設定値をはるかに越える。

「だから 異常だ」と言ってしまうればそれまでだが、

それらが今問題となっている「地球温暖化が威力を発揮し始めた現れ」といえないだろうか……。

不安感をあおるつもりはないが、深刻な兆候と見なくてはならないだろう。

地球温暖化が海水面を今より数メートル水位を上げるだけでたいしたことないと見るのは あまりにも楽観に過ぎる。

2005.10.25. by Mutsu Nakanishi

このような地球温暖化プロセスの中で地続きであった四国と本州の間の瀬戸内海・大阪湾も形成されていた。氷河に閉じ込められた「マンモス」に遡らなくても激変した日本列島は随所に見られる。

日本の四季 針葉樹から広葉樹まで広く分布する森 みんなそんな日本の激変の痕跡である。

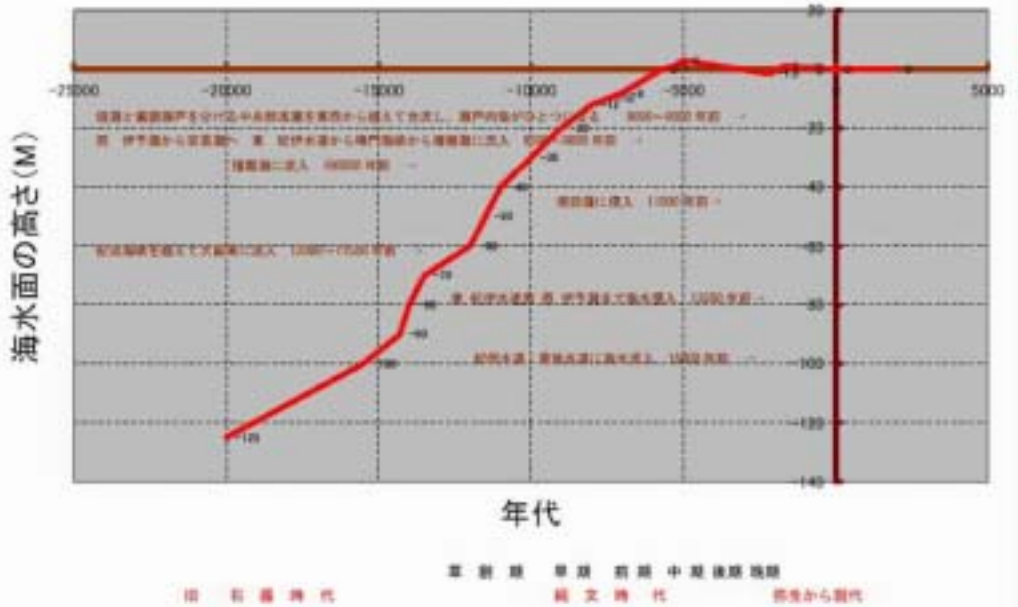
日本海に入った温暖な海流が作った上昇気流は大陸からの強い季節風とあいまって、日本列島の急峻な山にぶち当たって猛烈な雨・雪を降らせる。

そして 水と一緒に 川を流れ下る土砂が日本海側各地に平野部を随時形成した。

同じように太平洋側にも平野が形成され、日本列島が作られていった。

また、今から約5000年ほど前の縄文中期の時代に 最も気温が高くなり、今より 約1~2 高くなり、海水面は今より最大3mも高かったと言う。

集中豪雨などの異常気象は頂点に達し、「縄文の海進」と呼ばれる時代を経て 現在の日本ができた。



氷河期の終わり約 2 万年前から現在までの海水面の上昇と瀬戸内海の形成



右図は現在の西日本であるが、縄文海進の時代には黄色く見える平野部がすっかり水没する

要するに 日本の位置はそんな気象の激変の影響を大きく受ける位置にあり、それに地震・火山噴火が気象異変に拍車をかける。

地球温暖化が引き起こす問題は海面上昇に端的にあらわれるが、それにとどまらず、更なる異常を地球全体に引き起こす。今までの数値では評価できない気象の数々の異常値はすでに

生活を脅かしはじめている。

今までの常識の中では 生きていけない時代にさしかかったのではないが

それに対する認識と切り替えそして 温暖化を食い止めて行く工夫がわれわれり生活の中でも必要になっていると思えてならない。

2005.10.23. by Mutsu Nakanishi

古代史の仲間からこんな話を聞きました。

「岡山県 牛窓の先にある無人島 黄島に面白い縄文貝塚がある。」

「下の方の層は淡水の大和シジミ 上の方の層は汽水のカキから海水のハマグリ。」

これは 瀬戸内海に海水が入ってきた歴史を示し 其処に住む人の環境が激変している」

「瀬戸内海の成立ち」なんて先史の時代と思っていたのですが、そんな昔でなく「人の歴史」の中。

ついこの間 人が生活している中で起こっている。

「大阪湾が枚方の生駒山のあたりまで入りこんでいた」なんてにわかには信じがたかったのですが事実。

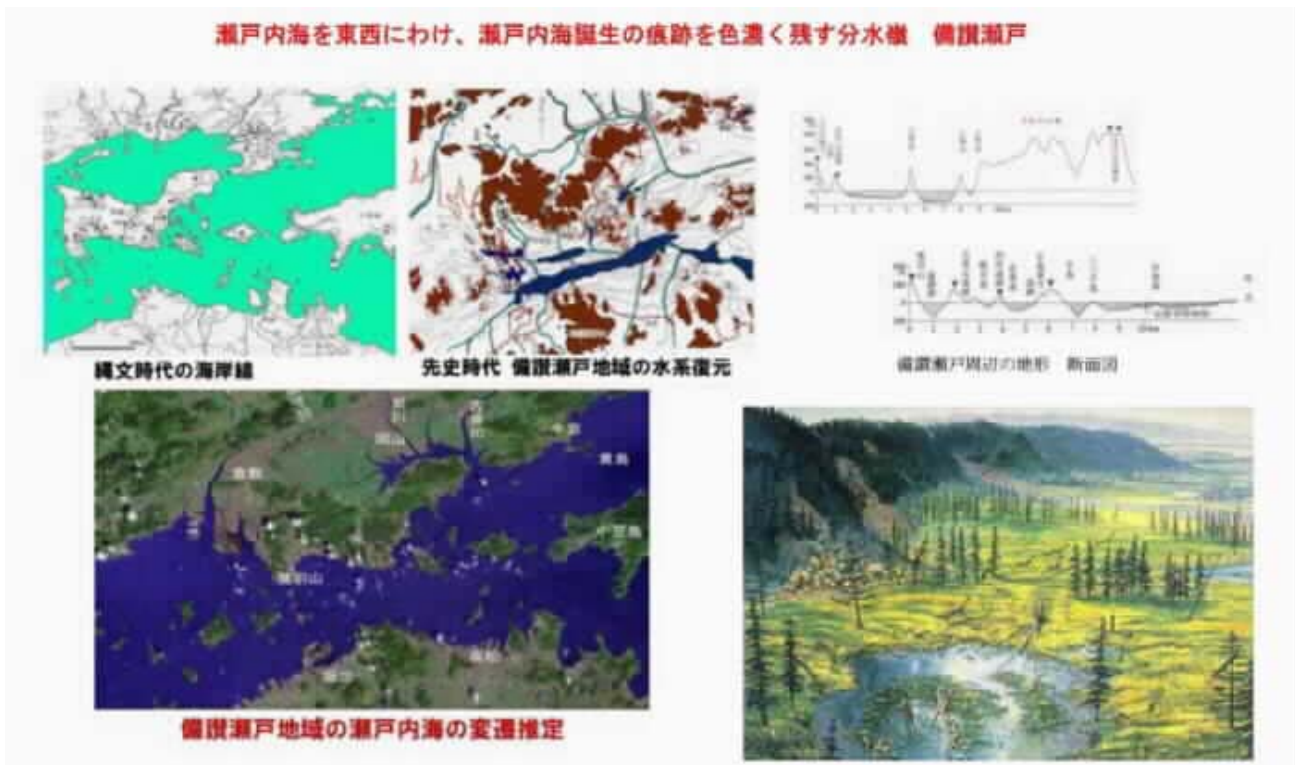
地球温暖化がもたらすすごさを 「西日本 瀬戸内海・大阪湾がどんな風にできたのか」 を考えるのもひとつではないでしょうか

そんな思いで瀬戸内海への海水の入る経過をしらべました。

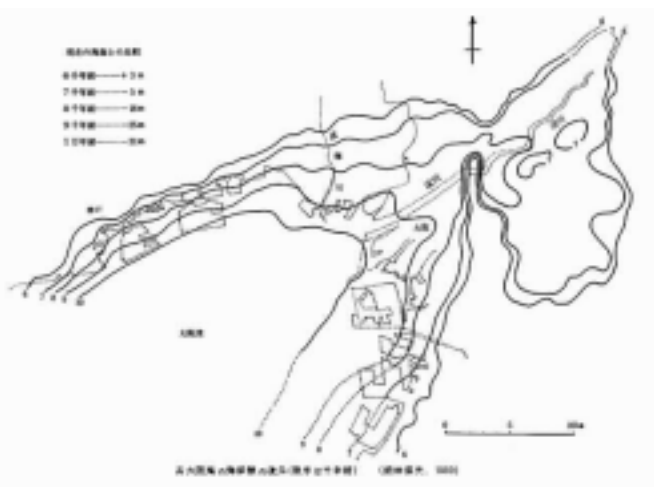
また 衛星写真が簡単にパソコンで見られる時代 視覚的に海水の流入や流れ出し口がわかっておもしろい。

下記にバラバラですが そんな 瀬戸内海・大阪湾の成り立ちと海水面の関係図表を集めました。

- 瀬戸内には昔大平原 備讃瀬戸周辺は南北に続く分水嶺



●大阪湾の地形変化



縄文の海進と大阪湾周辺 大阪・阪神間の海岸線の変化

下関「唐戸市場」は「うまいもの市・お祭り広場」

2005.10.16. by Mutsu Nakanishi



山口県 下関市 海峡に面した日曜日の唐戸市場は「うまいもの市・お祭り広場」 2005.10.16.

下関の町の中心部唐戸に魚の卸売市場の唐戸市場がある。下関海峡に面していてすぐ東に関門橋 海峡をはさんで向いが門司の町である。

鉄道・船の交通事情が変わり、港も寂れる一方だった下関の町でしたが、海峡に面した港が公園化されるのに合わせ、唐戸市場も新しく建て替えられ、明るい卸売市場になった。

夜明けから市が立ち フグをはじめ、一般の人も買える市場で下関の顔でもあった。

しかし、早朝から市が立ち、午前中で終わってしまうので、午後にはゴーストタウン ましてや日曜日は市もなく真っ暗な場所で活気のある朝を知らない旅行者やよそ者にとっては寂れ行く象徴みたいな感じもしていました。空き地が整理され、海岸沿いのきれいな遊歩道公園として整備 され、道をはさんで反対側にあった市場が海峡側に移転され、整備されると俄然唐戸市場にも活気と人出



卸売り市場の中その一角を借りて開かれた屋台のすし屋

が出るようになってきましたが、日曜日 ひと気のな い卸売市場の広い空間が居座り、遊歩道にも 人影がまばらでした。

ところが 久しぶりに日曜日の唐戸市場に行って びっくり。

唐戸市場の中も外の遊歩道の公園にも観光客はじめ多くの人があふれ、観光バスから次々と人が降りてくる。本当に様変わりの場所になっていました。

兆候はこの数年前からあったのですが・・・・・・・・



日曜日 唐戸卸売市場の中に出る多数の屋台のうまいものや ここが卸売り市場とは・・・・

理由は日曜日 市が立たず閉められた卸の店を借りて市場の中が一大屋台のすし屋街。

すしを中心としたテーマパーク状になっていて 人があふれていました。

ふぐのすしはじめ数々の「すし」「ふぐ」の「剥き身」に「から揚げ」「ふぐサシ」「くじら」「めんたいこ」 などなど 下関の売り物が見せいっぱい広げられ、吸い物 ビール も売っている。

すぐそこで食べられるデパ地下感覚の「フードパーク」である。

みんな とりどりのすしをパックに詰めてもらって 市場の通路に並べられたテーブルや市場の外の海岸ぞいに座ってほおばっている。

お店の中に人を囲い込むのではなく、屋台のお祭り広場とおなじで、市場に入ってきた客が店に座ることなく買ったものを好き勝手に外へ持って出て食べている。

待たずに済むし、店も場所を借りた出店。 明るい屋根つきで 雨も ok。 これは効率がいい。

したがって 「安い 早い 新鮮 そして 下関の名物」が売り物。 人が人を口コミで呼ぶ。

確か 数年前は休みの卸売り市場の中に数軒すし屋が店を出しているだけでしたが、今はもう市場の半分ほどに広がり、人の出入りの多さにびっくり。



市場が出来た当初 2階に新鮮な魚をそのままにぎってくれるすし屋ができ、TV・雑誌に取り上げられ、大数時間並ばないと食べられないなど話題になりました。いまでも 行列が出来るといっても それよりも この休日活用の市場の集客力 すごいものである。海外旅行で屋台街に行くのと同じ感覚で 人が人を呼ぶと言うのか 大変な人出になっていました。

駐車場もある 広い場所もある 平日とはまったく違う顔が唐戸市場にありました。レストランや店とはちょっと違った非日常的なスタイルが 「うまいもの市」と「お祭り」大好きな日本人好みにも合って 自然発生的にどんどん大きくなって ひとがあふれていました。スペースはまだある。 口コミでどんどん大きくなっている感じ。都市の真ん中であって 日曜日にはしっかり閉ざされた空間が多いが、こんな使い方があるのか・・・と。私も家内と二人 フグほかのすしやフグのから揚げをパックに入れてもらって 片手にビール缶を握って源平の海峡見ながら 野外の草の上で気楽に広げました ほんと 安くてうまい 観光客にこれは受ける。 まい商売 下関も考えたえた・・・と。

2005.10.16. 山口県下関市の唐戸市場で

面白い市場 下関唐戸市場 【2】

13.

「はげ」と「かわはぎ」は同じ魚 皮の剥ぎ取りの早業にびっくり

2005.10.16. by Mutsu Nakanishi



唐戸の市場で 生きた「かわはぎ」と皮を剥ぎ取られた「かわはぎ」 この魚「はげ」ともいう

下関の唐戸市場の一角で地の魚を売っている店 水槽に小さな「かわはぎ」を泳がせて売っている。「ふぐとおんなじぐらい刺身もうまいし 煮付けも鍋も また 肝がうまい・・・」という。水槽の前に白い「はげ」が並んでいる。

泳いでいる黒っぽい「かわはぎ」をはいだやつが前にならべたやつだという。

「かわはぎ」の皮を剥いだから「ハゲ」というのかどうか 知りませんが、「かわはぎ」と「はげ」は同じだという。「まるはげ」と呼ぶところもある。

網ですくい上げて 尻尾に包丁入れて 手で「ベキッ」と皮をめくってしまう。この間数秒の早業。まったく 残酷というまもない早業。今まで跳ねていたやつが丸裸でおとなしくなってしまう。

小物ばかりだが、網一杯 10 数匹で 1000 円

皮を剥くのが面白くて「刺身 そして 煮付けときも」の食べ方など教わって買いました。
さしみはふぐとおなじ味 うまい魚です。 下関の魚屋が言うから間違いなし



唐戸市場で「かわはぎ」を買う



「かわはぎ」の皮を数秒ではぎとる早業

ちり鍋に入った「はげ」は食べたことありましたが、「はげ」と「かわはぎ」が一緒とは知らず。
また 皮を「ベキッ」と一瞬で剥いて調理する早業での「はげ」への変身にはたまげました。
あとで調べると 昔はこのカワハギの皮をサンドペーパーにしたという。
また 肝をふぐの肝と偽って出すこともあると。
もっとも カワハギもふぐ科の魚なので いっしょ
これからが ふぐ カワハギ の季節です

2005.10.16. 下関 唐戸市場で
By Mutsu Nakanishi

14.

Merry Christmas



Merry Christmas !

「愛」 心の平和が常に皆様のうえにありますように

2005.12.20. Mutsu Nakanishi

12月になって それまでの暖かさがうそのような本当に寒い寒い極寒の日が続いています。

風などひかれませんように

神戸では 冬の風物詩として定着した「ルミナリエ」も始まり、師走。

最近はその世相とは離れ、師走といつてもピンときませんが・・・・

今年を象徴する言葉は「愛」だという。「愛」が今ほど渴望される時代はないというのが理由。

某新聞は今年の現実を象徴する言葉は「崩」。「愛」が本当に必要なのだと書いていました。「愛」ほど深い言葉はない。思い返すと次から次へと良いことも悪いことも次から次へと「愛」の場面が浮かんでくる。

世の中が「デジタル」「ユビキタス」を喧伝し、中身も考えずに みんな乗り遅れま

いともがいていて、かつての「効率 合理化コストダウン」に走った時代とが重なる。

日本人の好きなこれらの「リーダー至上主義」に一抹の不安を抱いている。

「みんなで渡ればこわくない信号」 ふつと一人 たたずんだ時の不安感。そんな不安感もまた 世間に広がっている。

本当に時代が変わる。そんな中でひちめんどくさい議論よりも「丁半」バクチ。それが 改革 デジタルの選択という。その判断の根底までもが、「丁半」では????

「縄文は日本人の心のふるさと」「万葉は心のふるさと」とよく言われるが、自分を揺り動かす「心のふるさと」「心情」がなければ・・・・

「ちょっと待て 車は急にはとまれない」である。

「衝動に駆られても してはならないことをやらない 判断・心情」 軽薄なデジタルの「手法」ではでてこない「理念」が一番求められている。社会一般では気づいていないが・・・・

デジタル・情報社会がスピードを求め、「不連続な革新 現在・今」を求めているのに対し、「判断の力」は「経験・理解・コミュニケーションなど過去・現在・未来の連続性」の中からは生まれません。

時代が変わろうとしている時 「原点に帰れ」とよく言われるが 日本人も今一度「原点に帰るとは何か?」を考えねばならぬ時ではないでしょうか・・・・

今年一年 常識的には考えられないことが多く起っています。でも それを煽ったのは誰か・・・・

「かつての寵児が 今批判的」そんな構図がこの10年繰り返され繰り返されつづいている。

そんな中で きちがいじみたことがおこり、その矛先が「年寄り 老人 子供」の弱者に向いている。

自分に限って・・・・ まさか 自分にふりかかるうとは・・・・ではない。

「踊らざるも 踊る方も もそんな立場から もうそろそろ卒業しないと。

野次馬ではすまないグローバル インターナショナルの社会

「踊らされない 踊らない 楽しみ多き社会へ」

「崩」から「愛」へ ひとりひとりが自分の判断力を養わないと本当に冷たい社会になりかねない。

「愛」という言葉に ことし一年のインターネット配信を読み返しながらかんたことを思い巡らしています。

ことし一年 お付き合いいただき ありがとうございます。

また 引き続きよろしく。



2005.12.20.

神戸にて ホームページ更新に一年を思い返しながらかんた

Mutsu Nakanishi